

- ◆ 府では、物価高騰を受け、子ども食費支援事業により、府のすべての子どもたちにお米・食料品を給付
- ◆ 5月15日現在、対象者の約6割から申請いただき、約78万人に給付済み

【現行事業の実施状況】

◆ 申請・給付決定数（5月15日時点）

申請件数	79万6,740件 57.3% (対象者比)
給付決定数	77万9,618件 97.9% (申請件数比)



物価高騰が引き続き中、地方創生臨時交付金を活用し、
第2弾の実施について現在検討中

◆ 給付を受けるためには、**令和5年6月30日（金）までに申請が必要です！**

対象者

申請日において大阪府内にお住まいの
(令和5年4月1日以降転入者を除く)

- ・平成16年4月2日以後に生まれた子ども
- ・令和5年3月31日時点において妊娠している方

給付物品

対象者が①②のいずれかを選択
(税込5,000円相当(送料を含む))

- ①お米PAYおおさか(お米クーポン) : 取扱店舗(米穀店・スーパー等)からお米を購入
- ②お米または食料品 : 給付物品受取サイト(食品カタログ)から選択

大阪府 子ども食費支援事業

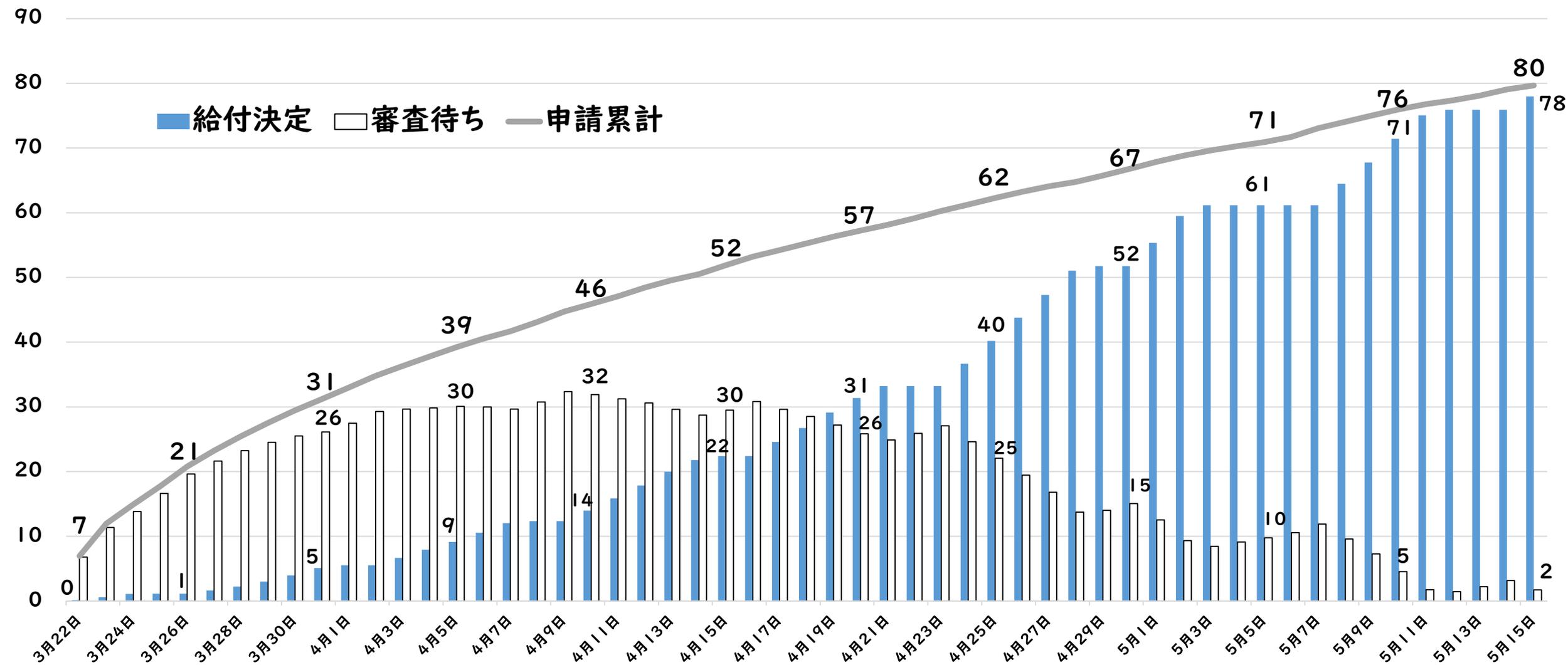
大阪府五股担当 副知事もやん

大阪府 子ども食費支援

子どもたちへのお米・食料品配付 審査状況

- ◆ 現在、申請から給付決定までの待機日数は概ね3日以内
- ◆ 不備件数（約1万件）については、申請者に補正対応を依頼

単位：万件



- ◆ 大阪府では、府内で古くから栽培されている野菜を「なにわの伝統野菜」として認証し伝統を守るとともに、地産地消を推進することで、脱炭素社会の実現をめざしています。
- ◆ 本日、「馬場なす」と「貝塚澤茄子」を新規品目として追加!

「なにわの伝統野菜」

- ◆ 概ね100年前から府内で栽培されており、これまで地域の農業者とともに守り続けてきた野菜。
- ◆ 大阪の豊かな食文化とともに受け継がれた特徴ある形などの個性が魅力。
- ◆ 現在、「天王寺蕪」や「難波葱」など19品目を認証しており、今回で21品目を認証。
- ◆ 認証されることで注目が高まり地域の活性化に寄与。

馬場なす

- ・大正時代に泉州地域の山間部を中心に栽培が広がった「水なす」の一種。
- ・現在まで、貝塚市の馬場地区の農業者が大切に守り栽培を続けてきた。
- ・普通のなすよりもやや短い形が特徴。

貝塚澤茄子

- ・明治20年代に泉州地域の浜側一帯で栽培されていた「水なす」の一種。
- ・昭和の初めに新潟県十全村に伝搬して栽培されたが、府では栽培が途絶えた。
- ・その後、新潟県の生産者から苗を譲り受けた貝塚市の農業者が栽培を復活。
- ・巾着の形が特徴。



「なにわの伝統野菜」 販売会の実施

希少ななにわの伝統野菜を
数量限定で販売!

【場所】かいつかいぶきヴィレッジ
直売所 (貝塚市馬場3081)

【期間】5月18日(木)から
【営業時間】9時~15時

泉州地域の他の直売所や
スーパーでも販売します!



この機会に、個性ある野菜を味わい魅力を再発見し、脱炭素化を推進しましょう!

なにわの伝統野菜



- ◆ 2月10日から4月30日まで義援金を募集し、3,753万2,924円の寄附をいただきました。
- ◆ 本日(5月17日)、日本赤十字社に753万2,924円の送金手続きを行いました。

義援金の受付・送金状況

義援金の受付状況

● 合計金額 3,753万2,924円 (1,461件)

日本赤十字社への送金

● 第1回 2,000万0,000円 (3月8日送金)

● 第2回 1,000万0,000円 (4月19日送金)

● 第3回 753万2,924円 (5月19日送金予定)

皆様からご協力いただいた義援金は、日本赤十字社を通じ、被災地において「救援活動への資金援助、救援物資の配布、食事・水等の提供、血液の供給、医療支援等」に活用されています。

多くの皆さまから、温かいご支援をいただき、ありがとうございました。